

「国内流行 HIV 及びその薬剤耐性株の長期的動向把握に関する研究」に対するご協力をお願い

研究代表（責任）者 宇野 俊介
研究機関名 慶應義塾大学医学部
(所属) 感染症学教室

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

これまでの間に、慶應義塾大学病院にて HIV 感染症の診断、治療のため受診し、診療、検査などを受けた方

2 研究課題名

承認番号 20231043

研究課題名 国内流行 HIV 及びその薬剤耐性株の長期的動向把握に関する研究

3 研究組織

研究代表機関

国立感染症研究所

研究代表者

(職位) 主任研究官 (氏名) 菊地正

共同研究機関

	研究機関名	研究責任者	所属	職位
1	国立感染症研究所	菊地正	エイズ研究センター	主任研究官
2	慶應義塾大学	宇野俊介	医学部感染症学	専任講師
3	独立行政法人国立病院機構東埼玉病院	堀場昌英	呼吸器疾患部門	部長

4	国立病院機構名古屋医療センター	今橋真弓	臨床研究センター感染・免疫研究部 感染症研究室	室長
5	国立国際医療研究センター	潟永博之	エイズ治療・研究開発センター	センター長
6	国立病院機構九州医療センター	南留美	AIDS/HIV 総合治療センター	部長
7	国立病院機構大阪医療センター	渡邊大	臨床研究センターエイズ先端医療研究部 HIV 感染制御研究室	室長
8	国立国際医療研究センター病院	増田純一	薬剤部	医薬品情報管理室長
9	千葉大学医学部附属病院	猪狩英俊	感染制御部	教授
10	広島大学病院	藤井輝久	輸血部	准教授
11	石川県立中央病院	渡邉珠代	診療部・免疫感染症科	科長・診療部長
12	琉球大学	仲村秀太	感染症・呼吸器・消化器内科学（第 1 内科）	助教
13	東京大学医科学研究所	古賀道子	先端医療研究センター感染症分野	特任講師
14	北海道大学	豊嶋崇徳	大学院医学研究院 血液内科学教室	教授
15	北海道医療大学	吉田繁	医療技術学部	教授
16	横浜市立大学	中島秀明	医学部 血液・免疫・感染症内科学	教授
17	国立病院機構仙台医療センター	伊藤俊広	統括診療部 HIV/AIDS 包括医療センター	部長
18	帝京大学医学部	吉野友祐	微生物学講座	教授
19	熊本大学	上野貴将	ヒトレトロウイルス学共同研究センター	教授
20	熊本大学	松下修三	ヒトレトロウイルス学共同研究センター	教授
21	愛媛大学	高田清式	医学部附属病院地域医療支援センター	教授
22	新潟大学	茂呂寛	医薬学総合病院・感染管理部	准教授
23	東京都健康安全研究センター	貞升健志	微生物部	部長

24	大阪健康安全基盤研究所	川畑拓也	微生物部	主幹研究員
25	福岡県保健環境研究所	中村麻子	保健科学部ウイルス課	研究員
26	神奈川県衛生研究所	佐野貴子	微生物部	主任研究員
27	東京医科歯科大学	田頭保彰	統合臨床感染症学分野	専任講師
28	JCHO 東京山手メディカルセンター	柳 富子	血液内科	顧問
29	東邦大学	吉澤 定子	医学部 臨床検査医学講座 / 微生物・感染症学講座	准教授
30	東京医科大学病院	四本美保子	臨床検査医学科	専任講師
31	京都大学医学部附属病院	高折晃史	血液内科	教授
32	茨城県立中央病院	秋根 大	内科（感染症）	部長
33	岐阜大学医学部附属病院	鶴見 寿	血液内科	医員
34	浜松医療センター	田島靖久	感染症内科	部長
35	東京都立多摩総合医療センター	織田鍊太郎	感染症内科	部長
36	自治医科大学附属病院	畠山修司	感染症科	教授
37	自治医科大学附属さいたま医療センター	畠山修司	血液科	教授
38	東京都立大久保病院	畠山修司	内科	医員
39	荻窪病院	長尾梓	血液凝固科	医員
40	東京勤労者医療会 東葛病院	土谷良樹	内科	腎センター長
41	福井大学医学部附属病院	岩崎 博道	医療環境制御センター	教授
42	富山県立中央病院	彼谷裕康	感染症内科	部長
43	三重県立総合医療センター	白木克哉	感染症内科	部長
44	国保直営総合病院君津中央病院	漆原崇司	呼吸器内科	部長
45	産業医科大学病院	花見健太郎	HIV 診療センター	医長

46	福岡大学病院	戸川 温	感染制御部	准教授
47	香川大学医学部附属 病院	内田 俊平	輸血部	助教

4 本研究の目的、方法

我が国では、これまで 10 年以上にわたり国内の HIV の流行を耐性変異の面から収集解析を続けてきた（～H27 年度エイズ対策事業「薬剤耐性班」）、詳細かつ長期にわたるデータの蓄積があります。本研究は、この集積データを基礎に、さらに継続して我が国の薬剤耐性 HIV の発生動向調査を主軸として、国内で流行する HIV 株の動向を分子疫学的に明らかにすることを目的としています。またこのような疫学解析を行うことで、今後ますます増加すると見込まれる海外からの HIV の広がりを一いち早く感知し、対策を講じる事も可能となることが期待されます。さらに、薬剤耐性 HIV 感染拡大阻止に向け、そして予防啓発に有益なエビデンスの創出を目的としています。

本研究では、新規 HIV/AIDS 診断症例を中心に、薬剤耐性変異、サブタイプ、指向性、感染時期の推定、B 型肝炎等合併感染症など様々な側面から流行の変遷や臨床的特徴を明らかにすること、また収集した HIV 遺伝子配列情報と疫学情報をバイオインフォマティクス学的手法を用いて分析を行います。

本研究は国立感染症研究所を主幹施設とする多施設共同研究で、全国の HIV 患者さんを対象としております。当院における患者データは当院で解析を行いますが、一部のデータや残余検体は国立感染症研究所に個人情報情報を削除した形で送付し、系統的に解析を行います。

また、ウイルスの遺伝子情報は公的なウェブサイト（DDBJ：
<https://www.ddbj.nig.ac.jp/index.html>）などを想定）などで公開される可能性があります。

5 協力をお願いする内容

HIV 感染症のために慶應義塾大学病院を受診された患者様の診療録および処方箋、臨床検査データ(血液)を確認し、情報を抽出させていただきます。また、HIV 耐性遺伝子情報や抽出された診療情報の一部、残余検体は解析のために国立感染症研究所へ送付いたします。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2026 年 3 月 31 日

7 外部への試料・情報の提供

診療上取得された診療情報の一部、および残余検体を国立感染症研究所に、個人が特定できないよう匿名化した形で CD-ROM で手渡し、もしくは電子的配信にて提供します。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、試料・情報の利用や他の研究機関への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学医学部 専任講師 宇野俊介
〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35
TEL 03-5315-4287 FAX 03-5315-4287
e-mail: suno@keio.jp
(電話は平日 8:30-17:00 のみ対応可能です)

以上